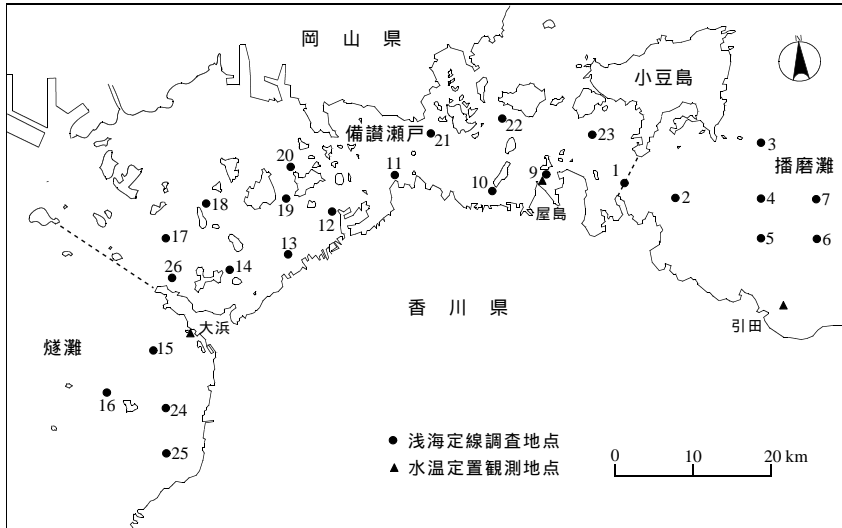


香川県漁海況速報 平成20年 1月 (H19-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成20年1月9日 (播磨灘) 8日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「やや低めからかなり高め」、溶存酸素は「平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	13.1	13.1	12.7	33.2	33.2	33.1	8.5	6.07	6.01
	平年値	12.5	12.4	12.4	32.5	32.5	32.5	7.7	5.96	5.92
	平年偏差	0.6	0.6	0.3	0.7	0.7	0.6	0.8	0.11	0.09
	状況	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	12.3	12.3	12.3	33.4	33.3	33.3	8.2	5.98	6.03
	平年値	11.9	11.8	11.8	32.6	32.6	32.6	5.6	5.96	5.97
	平年偏差	0.5	0.5	0.5	0.8	0.7	0.7	2.6	0.02	0.06
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	13.0	12.9	12.9	33.4	33.4	33.4	6.0	5.93	5.90
	平年値	12.5	12.5	12.6	32.8	32.8	32.9	7.5	6.05	5.93
	平年偏差	0.4	0.4	0.3	0.6	0.6	0.6	-1.5	-0.12	-0.03
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

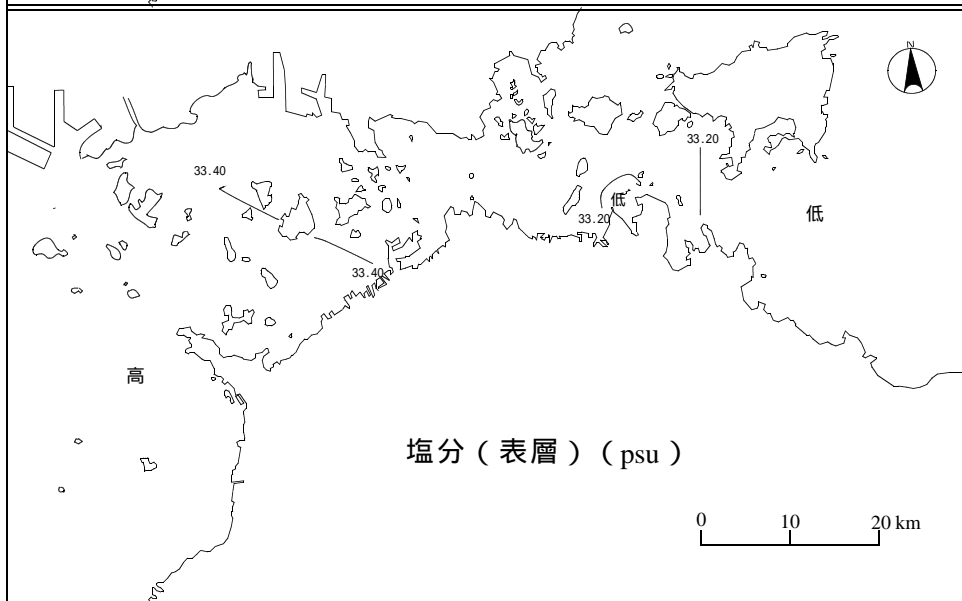
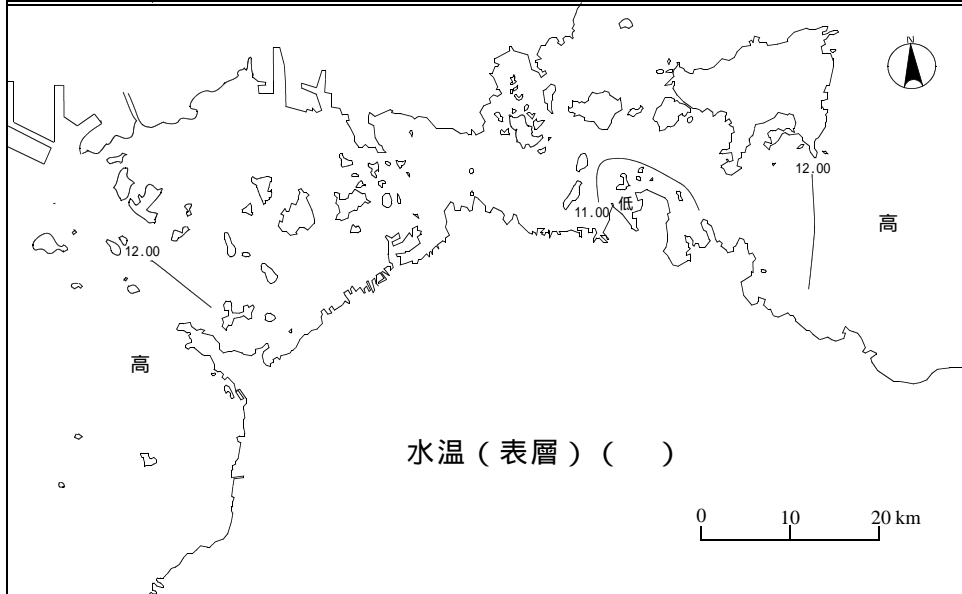
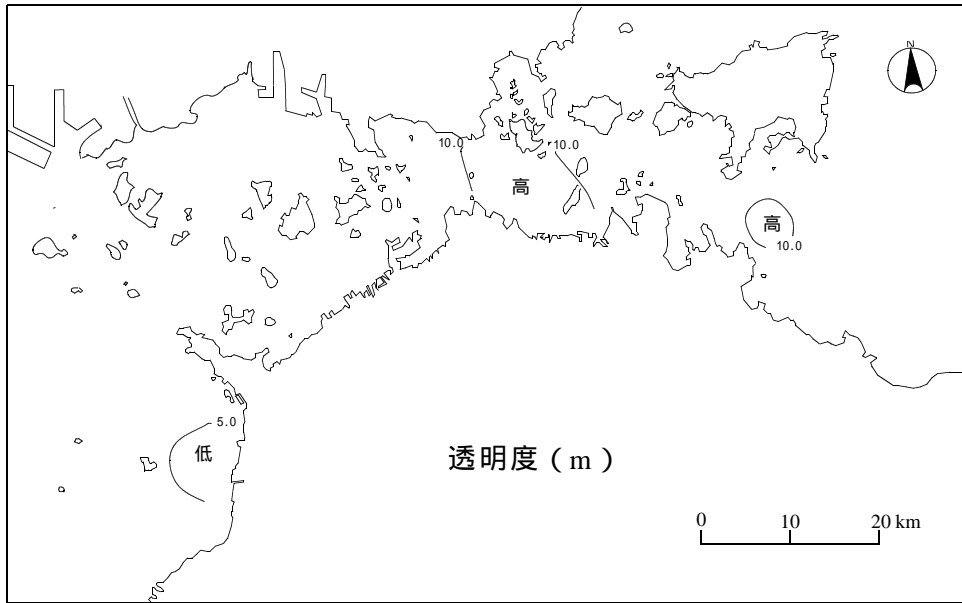
平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



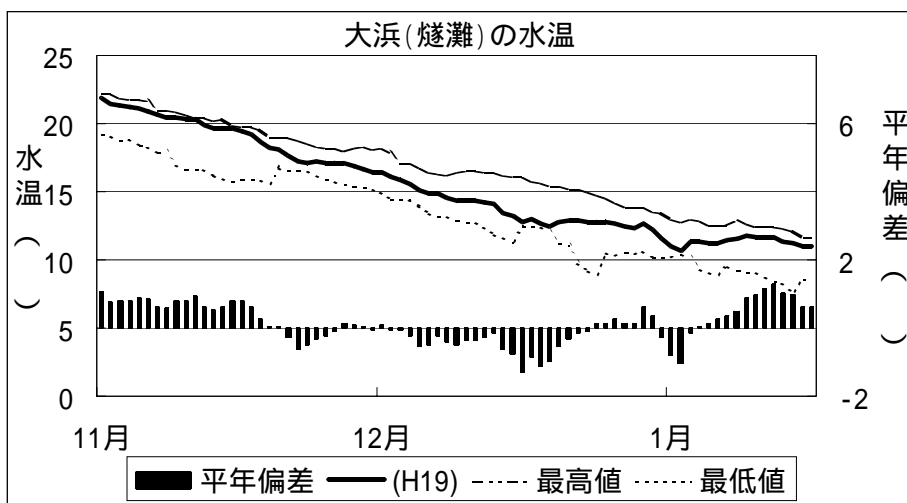
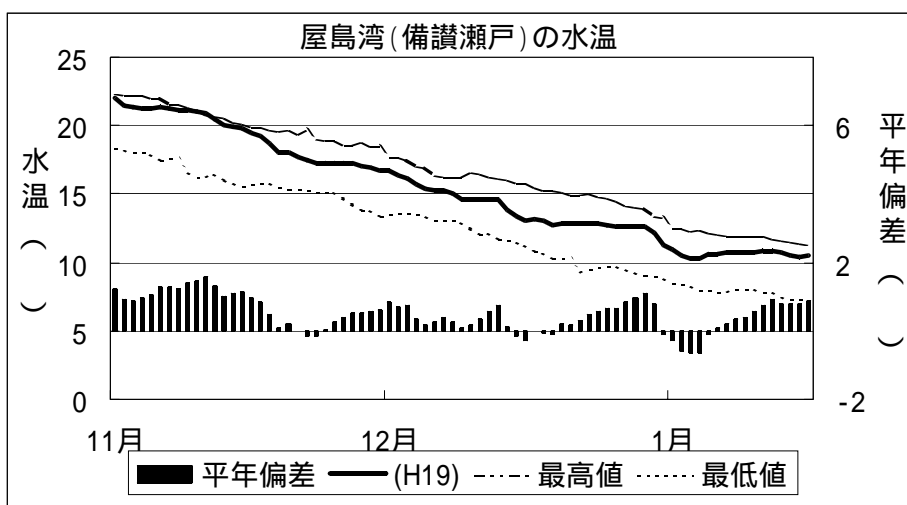
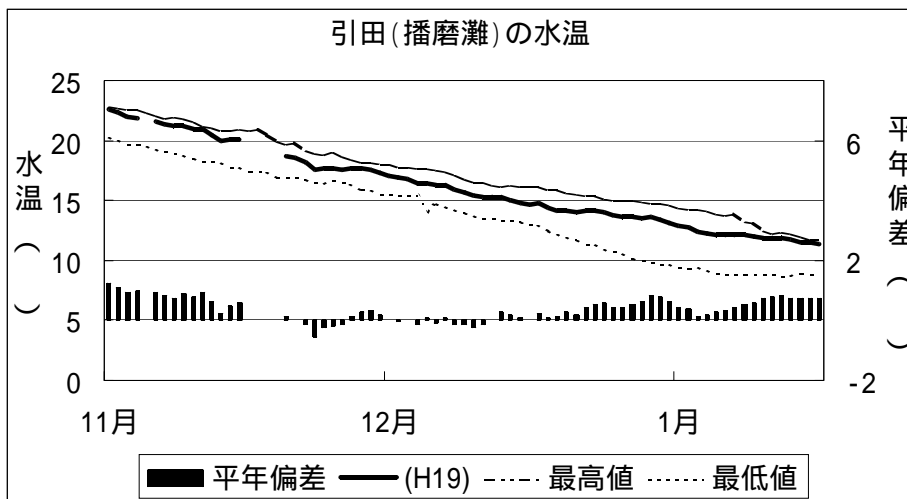
3) 定量観測(水温)

播磨灘(引田): 12月上旬から1月上旬は平年並み、1月中旬はやや高めで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 12月上・中旬は平年並み、下旬はやや高め、1月上旬は平年並み、中旬はやや高めで推移している。

燧灘(大浜): 12月上旬から1月上旬は平年並み、1月中旬はやや高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)～平成18(2006)年
屋島: 昭和50(1975)～平成18(2006)年



4) 赤潮 (12月11日 ~ 1月16日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成20年1月9日 (播磨灘) 8日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

個 (尾) / 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.25	0.13	3.88
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.60	0.07	0.67
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.17	0.07	1.37

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	0.0%	-	0.0%	-	108.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%	-	54.0%
燧灘平均	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	63.1%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55 (1980) ~ 平成18 (2006) 年度

マイワシ：平成5 (1993) ~ 平成18 (2006) 年度

イカナゴ：昭和55 (1980) ~ 平成18 (2006) 年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

2. 漁況

12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、スズキ、メイタガレイ、イイダコ、マコガレイが漁獲されている。 建網ではマコガレイ、ウマヅラハギが漁獲されている。 桁網ではマアジ、ウマヅラハギ、マコガレイ、マダイが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、小型エビ類、ウマヅラハギ、マアナゴが漁獲されている。 中讃・高松沖の12月のタイラギ潜水器漁業の漁獲量は前年より少なく60~80kg/隻・日程度であった。
燧 灘	底びき網では主に小型エビ類、メイタガレイ、マコガレイ、タチウオ、カワハギ、ウシノシタ類が漁獲されている。